

広野町消防団・婦人消防隊出初式



↑駅前通りでの防火パレードの様子

広野町消防団・婦人消防隊出初式が1月18日（日）に開催されました。出初式に先立ち、広野駅前通りで防火パレードが行われ、広野こども園の園児らも参加して火災予防を呼びかけました。検閲式には消防団員ら約60人が出席し、秋田団長の指揮の下、通常点検や機械器具点検を行いました。小松町長は「消防団員としての誇りを胸に、住民の信頼に応えるべく、一丸となって消防活動に取り組んでほしい。」と挨拶しました。

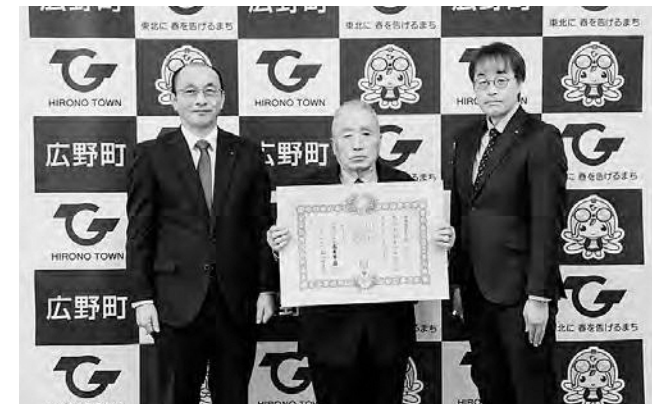
「脱炭素都市づくり大賞」特別賞を受賞



↑表彰を受けた小松町長（右）と手塚社長（中央）

全国の優れた脱炭素型の都市開発事業を表彰する「脱炭素都市づくり大賞」の表彰式が1月15日（木）に東京都内で行われました。広野町が進めている公共施設に太陽光発電や蓄電池などを設置する「マイクログリッド構築事業」が見事、特別賞を受賞しました。表彰式には小松町長と共同事業者の（株）スマートソーラーの手塚博文社長が出席し、表彰状を受け取りました。

渡邊久長さんが旭日単光章を受章



↑旭日単光章を受章した渡邊久長さん（中央）

地方自治功労に係る高齢者受勲伝達式が1月29日（木）に町役場で行われました。昨年12月1日付けの高齢者叙勲により、元広野町議会副議長の渡邊久長さんが、長年にわたる地方自治への功績が認められ、『旭日単光章』を受章されました。伝達は高橋和司相双地方振興局長から行われ、小松町長が立ち合いました。渡邊久長さんは平成11年4月の広野町議会議員に当選以来、4期16年7か月の長きにわたり、町勢伸展や震災後の復旧・復興に尽力されました。

令和8年新春交歓会



↑式典で挨拶する小松町長

広野町新春交歓会が1月9日（金）に開催されました。当日は約150人の町内企業や町関係者らが出席し、町政伸展を願い新年の挨拶を交わしました。小松町長が「将来世代に誇れるまちづくりに取り組み、町民が幸せを実感できる持続可能なまちづくりを進めていきます。」と挨拶しました。来賓として、坂本竜太郎衆議院議員、斎藤裕喜衆議院議員、佐々木恵寿県議会議員らが祝辞を述べました。

東大落研寄席



↑巧みな話芸で会場を沸かす学生

東京大学落語研究会による寄席が1月24日（土）に広野町公民館で開催されました。このイベントは東京大学アイソトープ総合センターと福島工業高等専門学校の主催で、学生が落語や漫才、言葉のワークショップなどを通して、古典や言葉の魅力を伝える取り組みです。寄席では8人の学生たちが落語や漫才を披露し、その巧みな話芸で会場を沸かし、来場した町民の皆さんも声を上げて笑っていました。

いわきFCが表敬訪問



↑小松町長から大倉代表（右）へお米を贈呈

いわきFCの大倉智社長が1月26日（月）に表敬訪問に訪れました。大倉社長は2月から開幕する特別大会「明治安田生命J2・J3百年構想リーグ」に先立ち、ホームタウンである広野町を訪れ、小松町長にリーグ戦の意気込みを語りました。小松町長は、いわきFCの選手の皆さんの今シーズンの活躍を祈願し、特別栽培米コシヒカリ「とんぼのめがね米」120kgを贈呈しました。

横田和希さんが福島県農業士に認定



↑小松町長に農業士認定を報告した横田さん（右）

株式会社よこたファーム 代表取締役 横田和希さんが「福島県農業士」に認定されました。横田さんは1月22日（木）に福島市内で行われた認定証交付式に出席し、内堀知事から認定証を交付されました。「福島県農業士」は、県内で活躍する高度な経営力と指導力を持つ優秀な農業者を県が認定するもので、認定者は新規就労者の指導的役割を担いながら、地域農業のさらなる振興と活性化に取り組んでいきます。

広野駅ペーパークラフトワークショップ



↑楽しみながら作業を行う参加者の皆さん

ペーパークラフトワークショップが1月24日（土）にひろの未来館で開催されました。このイベントは「地域の記憶継承プロジェクト」と題して、長年親しまれてきた広野駅の旧駅舎の思い出を大切にするため開催されました。当日は町民約20人が参加して、旧駅舎の思い出を語り合いながら、3Dプリンターで再現した駅舎のペーパークラフトを手作業で丁寧に組み立てました。